

茨歯発第 225 号
令和 7年 11月25日

茨城県歯科衛生士会長 岩村 昌子 様

茨城県歯科医師会
会長 榎 正 幸



介護保険講習会について

寒冷の候、貴殿益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本会では、介護保険事業の一環として、標記講習会を下記により開催することとなりましたのでご案内申し上げます。多数の方のご参加をお待ちしております。

記

1. 日時 令和 8年 1月25日(日) 10時～12時
2. 場所 茨城県歯科医師会館 3階講堂
水戸市見和 2-292-1 TEL029-252-2561
3. 演題・講師 「歯がある人生、花がある ～今日から備える、大切な人と守る～」
足利赤十字病院 リハビリテーション科 副部長兼口腔ケアリーダー
尾崎 研一郎 先生
4. 対象者 医療・介護従事者
5. 定員 50名 ※定員内でお入りいただける場合は、とくにご返事は差し上げません。
6. 受講料 無料
7. 申込方法 下記URL又はQRコードからの申込フォームで、1月15日(木)までにお申込下さい。こちらでのお申込が難しい場合は、本会事務局(029-252-2561)までお問い合わせください。

URL <https://x.gd/PqnYQ>

QRコード



「歯がある人生、花がある ～今日から備える、大切な人と守る～」

【講演抄録】

人生の豊かさを考えるとき、「歯」は重要です。歯に問題があると、大切な人と楽しく食事をしたり、語り合ったりすることが十分にできなくなります。加齢に伴い、筋力・視力・聴力などは衰えていきますが、歯の健康は正しい口腔ケアによって老化の影響を抑えられる可能性があります。

近年の研究において、「孤立している高齢者」は「地域との繋がりがある高齢者」に比べて残存歯数が少ないことが明らかになっています。つまり、孤立によって歯磨きや歯科受診の機会が減り、結果として歯周病やう蝕が進行し、口腔の健康が損なわれます。また、孤立は認知症のリスクを高めることも知られています。さらに、歯が多い人ほど健康寿命が長く、要介護期間が短いという報告もあります。とりわけ興味深いのは、男性の死亡リスク要因の中で、「現在歯数」が身体活動・喫煙・高血圧・飲酒などを上回り、年齢に次ぐ第2位の要因とされた報告があることです。このように歯の重要性を裏付ける科学的根拠は、数多く示されています。

私は地域中核病院に勤務する歯科医師です。ユニークな点はリハビリテーション科に所属しており、医科の入院患者に特化した診療を行っています。2024年度は当科にて1,732人の入院患者さんを診察しました。これまでに、病気の影響で歯科医院への通院が困難になった方、歯科受診を避けていた方、家庭の事情により歯科医院へ通えなくなった方など、歯科医院への受診ができない多くの入院患者さんを診てきました。そして、多数のう蝕や重度の歯周病、ケアされていない歯・義歯をしばしば目にしました。これらの原因はさまざまだと思いますが、患者さんの健康意識の低さや不安定な精神状態、介護者の口腔ケアの知識不足や意識の低さ、また介護者によるネグレクトなどの要因もあるかもしれません。これまでの経験から皆さんにお伝えしたいことの1つは「自分が動けなくなった時に、誰が自分の歯を守ってくれるのか」という問いです。皆さんの身近に、口腔ケアの知識や技術を持つ人はいるでしょうか。少し余談になりますが、患者さんの病室に入って、口腔ケア物品の準備状況を見ると、家族と患者さんの関係性や口腔の状態が予想できるような気がしています。皆さんもそのような経験があるのではないのでしょうか。

今日は、私の臨床経験と最新の知見をもとに、お口の健康についてお話しします。この研修会を通じて、皆様が次の世代であるお子さんやお孫さんへ「歯の大切さ」を伝えて頂けると幸いです。

(裏面へ)

講師紹介

足利赤十字病院 リハビリテーション科

副部長 兼 口腔ケアリーダー

尾崎 研一郎 先生



【ご略歴】

1999年4月 日本歯科大学 歯学部（現 生命歯学部）入学

2005年3月 日本歯科大学 歯学部（現 生命歯学部）卒業

2006年4月 東京医科歯科大学（現 東京科学大学）大学院 医歯学総合研究科
高齢者歯科学分野 入学

2007年4月-2009年4月

藤田保健衛生大学（現 藤田医科大学）七栗サナトリウム（現 七栗記念病院）歯科 非常勤

2010年3月 東京医科歯科大学（現 東京科学大学）大学院 医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野，博士課程修了，歯学博士

2010年10月 足利赤十字病院 リハビリテーション科 歯科部門開設 現在に至る

2021年4月 東京医科歯科大学（現 東京科学大学）歯学部 臨床教授（非常勤）
現在に至る

【資格】

日本老年歯科医学会 専門医，指導医

日本補綴歯科学会 専門医

日本摂食嚥下リハビリテーション学会 認定士

日本救急医学会 ICLS コースインストラクター

【所属学会】

日本老年歯科医学会

日本補綴歯科学会

日本摂食嚥下リハビリテーション学会

日本口腔ケア学会